

「超音波内視鏡ガイド下腹腔神経叢ブロック(EUS-CPN)、腹腔神経節ブロック(EUS-CGN)およびその併用療法の長期予後と疼痛緩和効果に関する多施設共同後ろ向き比較研究」のお知らせ

富山大学附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:実施許可日～ 2028年3月31日

〔研究課題〕

超音波内視鏡ガイド下腹腔神経叢ブロック(EUS-CPN)、腹腔神経節ブロック(EUS-CGN)およびその併用療法の長期予後と疼痛緩和効果に関する多施設共同後ろ向き比較研究

〔研究目的〕

本研究の目的は、EUS-CPN、EUS-CGN、およびその併用療法を受けた進行膵癌患者の長期予後と疼痛緩和効果を比較検討し、これらの手技が生存期間や疼痛コントロールの持続期間に与える影響を明らかにすることです。

〔研究意義〕

膵癌患者の疼痛管理は、生活の質を維持する上で重要な課題です。超音波内視鏡ガイド下腹腔神経叢ブロック(EUS-CPN)と腹腔神経節ブロック(EUS-CGN)は、有効な疼痛管理法として確立されています。しかし、これらの手技が長期予後に与える影響については、一致した見解が得られていません。本研究では、EUS-CPN、EUS-CGN、およびその併用療法を受けた進行膵癌患者の長期予後と疼痛緩和効果を比較検討し、これらの手技が生存期間や疼痛コントロールの持続期間に与える影響を明らかにすることを目的とします。本研究の結果が、将来の膵癌患者の疼痛管理の改善に寄与する可能性があります。

〔対象・研究方法〕

研究は、2003年9月1日から2024年11月30日までの期間に、当院でEUS-CPNまたはEUS-CGNを受けた患者様を対象にします。

調査する内容は主に以下のとおりです。

患者基本情報、腫瘍関連情報、治療関連情報、薬剤分布範囲、疼痛評価、オピオイド使用量、予後情報など。

これらの情報は個人を同定できないように加工した後に当院研究事務局内の研究データベースに登録します。共同研究機関からの情報は、個人を同定できないように加工し、セキュリティが確保された電子媒体または電子的配信サービス経由で当院に提供され、当院研究事務局内の研究データベースに登録されます。

〔研究機関名〕

研究代表機関・研究代表者：帝京大学医学部附属溝口病院消化器内科・教授 土井 晋平

共同研究機関・研究責任者：富山大学・教授 安田 一郎、岐阜大学・講師 岩下拓司、岐阜市民病院消化器内科・消化器病センター・センター長 岩田圭介、岐阜県総合医療センター消化器内科・医長 丸田明範、金沢医科大学・教授 向井強

〔個人情報の取り扱い〕

研究にあたっては、対象となる方の個人を同定できる情報は一切使用致しません。データの管理、保管は厳重に行い、研究終了後にデータおよび資料は倫理委員会事務局に提出され帝京大学臨床研究センターにて 10

年間保管後にすべて廃棄します。

対象となる患者様あるいはご家族で、患者様の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 安田一朗 (教授)

研究分担者: 林 伸彦 (助教)

所属: 富山大学附属病院 第三内科

住所: 〒930-0152 富山県富山市杉谷 2630 TEL: 076-434-7301